古地図を片手に、まちを歩こう。

山口県内および島根県益田市の

38コース

▲「萩国御城下絵図」享保2年(1742) 山口県文書館蔵

古地図を片手に、まちを歩こう。

2023年9月16日～2024年3月

山口県内および島根県益田市の**38**コース

実 実施時期 料 参加料金 問 お問い合わせ・お申し込み先 ※全コース大人料金です。各コースのお問い合わせ先へ直接お申し込みください。

01 岩国【岩国市】

歴史探訪ウォーク

江戸後期の岩国城下町を手と足で巡ります。史跡に絞ったお屋敷散策、当時の姿を想像しながら歩く町並みウォーキングをお楽しみください。

実施期間 通年催行（12月29日～1月3日を除く）
集合場所 ①岩国駅 ②吉香公園 ③錦帯橋
コース ①【お申し込み・お問い合わせ】
岩国観光ガイドボランティア協会 ☎090-9849-3105
②【お申し込み・お問い合わせ】
岩国観光ガイドボランティア協会 ☎090-9849-3105
料金 無料
問 岩国観光ガイドボランティア協会 ☎090-9849-3105

岩国観光館蔵

02 柳井【柳井市】

白壁の町並みを散策

中世の町割りが残る、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている白壁の町並みを中心に、江戸時代から現代にかけて作られた古地図を手に、町並みのうつりかわりを巡ってみませんか。

実施期間 通年催行（12月29日～1月3日を除く）
集合場所 柳井市観光交流施設「白壁の町並み案内所」
コース 【お申し込み・お問い合わせ】
柳井市観光交流施設「白壁の町並み案内所」
☎0820-23-2655
料金 無料
問 柳井市観光交流施設 ☎0820-23-2655

山口県文書館蔵

03 遠崎・阿月【柳井市】

柳井にぽん晴れ街道を歩く

江戸時代末期、阿月領区には三宝、遠崎地区には明治期に貿易で栄えた町並みが残っています。

実施期間 通年催行（12月29日～1月3日を除く）
集合場所 ①JR柳井駅 ②JR柳井駅 ③JR柳井駅
コース ①【お申し込み・お問い合わせ】
柳井観光協会 ☎0820-22-2233
②【お申し込み・お問い合わせ】
柳井観光協会 ☎0820-22-2233
③【お申し込み・お問い合わせ】
柳井観光協会 ☎0820-22-2233
料金 ①無料 ②無料 ③無料
問 ①柳井観光協会 ☎0820-22-2233
②柳井観光協会 ☎0820-22-2233
③柳井観光協会 ☎0820-22-2233

山口県文書館蔵

04 大畠【柳井市】

古地図で巡る大畠の町並みと大畠瀬戸

大畠瀬戸は「日本三大潮流」の一つに数えられ、「電源の西門」とも呼ばれていました。迫力のある大畠瀬戸と、海運業のなごりで栄えた大畠の町並みを歩いてみませんか。

実施期間 通年催行（12月29日～1月3日を除く）
集合場所 JR大畠駅
コース 【お申し込み・お問い合わせ】
大畠観光 ☎0820-72-0111
料金 大畠→大畠 片道500円
問 大畠観光 ☎0820-72-0111

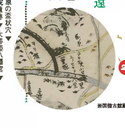
岩国観光館蔵

05 日積【萩市】

古地図で巡る小瀬川周遊

周防と安芸の国境に位置した小瀬川。江戸時代には、上流の錦帯橋を経由して岩国へ、下流を経由して萩へと、二つの城下町を結ぶ重要な役割を担っていました。

実施期間 通年催行（12月29日～1月3日を除く）
集合場所 ①JR岩国駅 ②JR岩国駅
コース ①【お申し込み・お問い合わせ】
岩国観光ガイドボランティア協会 ☎090-9849-3105
②【お申し込み・お問い合わせ】
岩国観光ガイドボランティア協会 ☎090-9849-3105
料金 ①無料 ②無料
問 ①岩国観光ガイドボランティア協会 ☎090-9849-3105
②岩国観光ガイドボランティア協会 ☎090-9849-3105

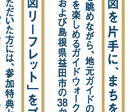

岩国観光館蔵

06 長島【上関町】

古地図で巡る上関の朝鮮通信使

上関周辺は朝鮮通信使の往来が盛んな地域でした。歴史にたくさんの人々が関わった痕跡が残る地区を通過する際の景色が描かれています。現代と比較しながら歩いてみましょう。

実施期間 通年催行（12月29日～1月3日を除く）
集合場所 道の駅「上関海峡」
コース 【お申し込み・お問い合わせ】
上関町観光協会 ☎0820-62-2698
【受付時間】9:00～17:00（土日祝日を除く）
料金 無料
問 上関町観光協会 ☎0820-62-2698


山口県文書館蔵

07 室津【上関町】

古地図で巡る上関の幕末維新ゆかりの地

海上交通の要衝・高杉晋作ら多くの志士たちが訪れた幕末ゆかりの地や明治維新の転換点となった出来事を、古地図を片手に歩いてみませんか。

実施期間 通年催行（12月29日～1月3日を除く）
集合場所 ①JR室津駅 ②JR室津駅
コース 【お申し込み・お問い合わせ】
①上関町観光協会 ☎0820-62-2698
②上関町観光協会 ☎0820-62-2698
料金 ①無料 ②無料
問 ①上関町観光協会 ☎0820-62-2698
②上関町観光協会 ☎0820-62-2698

山口県文書館蔵

08 室積【光市】

古地図で歩こう！

平安の古さと、歴史と風情、明治維新にまつわる人物と、室積にまつわる人物と、室積にまつわる人物と、室積

12 桑山（くわやま）【防府（ほうふ）市】

志士圏歩の地 防府・桑山コース

大内氏ゆかりの地として発展した大寺等をはじめ多様な寺院が集まる桑山。幕末の激動期には、志士たちが集い、勤王の志士を支援した地でもあります。

コース 約5.5km・約1時間30分

お問い合わせ 防府観光コンベンション協会 ☎0835-22-2148

13 三田尻（みたじり）【防府（ほうふ）市】

志士圏歩の地 防府・三田尻コース

幕末に多くの志士が集まった三田尻。歴史の舞台となった港や、明治維新の偉人ゆかりの地を巡ります。

コース 約4.5km・約3時間30分

お問い合わせ 防府観光コンベンション協会 ☎0835-22-2148

14 富海（とのみ）【防府（ほうふ）市】

近世山陽道 富海宿を歩く

町並みから、現役の銭湯まで、江戸時代の面影を残す富海宿を歩きます。

コース 約2.5km・約1時間

お問い合わせ 防府観光コンベンション協会 ☎0835-22-2148

15 山口（やまぐち）【山口市】

維新新章巡山口街路巡り

幕末の山口町は、当時の長州藩の先鋒を務めた毛利敬親公が藩庁をおくなど、藩の中心的な役割を担っていました。維新の志士たちが集い、歴史の舞台となった山口の町を歩きます。

コース 約3.5km・約2時間

お問い合わせ 山口観光コンベンション協会 ☎083-934-3480

16 阿東（あとう）【山口市】

あとう田園ウォーク

田園風景と清冽な湧水が豊かな山口市阿東地区はブナの原生林が広がる自然豊かな地域です。

コース 約5.5km・約3時間

お問い合わせ 阿東総合支所 ☎083-956-2222

17 阿東徳佐（あとうとくさ）【山口市】

石州街道 国境の町

小郡宿と萩藩の御茶屋を結んだ「いかるが越え」は、石州街道（萩往還）の一部として、参勤交代の大名や長州藩の藩士たちが行き来した歴史ある道です。

コース 約5.5km・約3時間

お問い合わせ 阿東総合支所 ☎083-956-2222

18 鋳銭司（すぜんじ）【山口市】

鋳銭司 古地図散歩 ～村名の由来の地を歩く～

鋳銭司は、幕末維新の先覚者大村益次郎の生誕地として有名ですが、古代には、日本で初めて銅銭が鋳造された官営の工場が置かれていました。

コース 約4.5km・約2時間30分

お問い合わせ 山口観光コンベンション協会 ☎083-934-3480

19 秋芳（あきよし）【美祢市】

維新の舞台 赤間関街道沿いの歴史を訪ねる

赤間関街道は、萩藩の参勤交代や、幕末の志士たちが往来した重要な道でした。

コース 約5.5km・約3時間30分

お問い合わせ 美祢市観光協会 ☎0837-52-0115

20 上宇部（かみうべ）【宇部市】

神仏に護られていた宇部発祥の地

「地下に神様がいる」と言われる宇部。

コース 約3.5km・約2時間10分

お問い合わせ 宇部観光コンベンション協会 ☎0836-34-8355

21 小串（おぐし）【宇部市】

ある日忽然と現れた砂嘴と入海の痕跡を探してプラ散策

慶長16年（1611）、それまで海だったところに突如として砂嘴と陸地とが現れました。

コース 約5km・約3時間

お問い合わせ 宇部観光コンベンション協会 ☎0836-34-8355

22 藤山（ふじやま）【宇部市】

廻船業で栄えた藤曲村、かつての海岸線に沿って「大の尾っぽ」歩き

かつて藩政時代には、特産品を積んだ船が行き交い、にぎわいをみせていた藤曲村。

コース 約4.5km・約2時間

お問い合わせ 藤山交流センター ☎0836-34-8355

23 厚狭（あさ）【山陽小野田市】

厚狭の歴史に触れるガイドツアー

山陽小野田市は、明治時代に石炭の採掘が始まり、大正時代には、セメント産業が発展するなど、日本の近代化を支えてきました。

コース 約3.5km・約2時間10分

お問い合わせ 山陽小野田市観光協会 ☎0836-71-1000

24 長府（ちょうふ）【下関市】

城下町長府の変遷をひもとくガイドウォーク

江戸時代には、長府藩の支藩の城下町として栄え、幕末には維新回天の原動力の変遷をひもときます。

コース 約5km・約3時間

お問い合わせ 下関市観光施設課 ☎083-231-1300

25 赤間関（あかまがせき）【下関市】

北前船が寄港して繁栄し、近代建築の街並みが今も残る商業都市

江戸時代から明治時代にかけて、北前船と呼ばれる西廻り航路の寄港地として栄えた下関。

コース 約3.5km・約2時間

お問い合わせ 下関市観光施設課 ☎083-231-1300

26 川棚（かわたな）【下関市】

殿様が愛した湯の町 川棚

時代には豊臣秀吉の朝鮮出兵の際に、小早川隆景が傷ついた兵士を湯治させたと伝えられ、歴代藩主の湯治場として栄えました。

コース 約3.5km・約2時間

お問い合わせ 下関市観光施設課 ☎083-231-1300

27 俵山（たわらやま）【長門市】

温泉寄付西の横綱 殿様の湯治場めぐり

湯治場は、江戸時代に藩主や家臣団が湯治のために訪れた温泉地のことです。

コース 約4.5km・約3時間

お問い合わせ 長門市観光交流課 ☎0837-27-0074

28 仙崎（せんざき）【長門市】

長州北浦捕鯨と北前船寄港地

長門市仙崎は、江戸時代には長州藩と呼ばれ、通商交易の拠点として栄えた港町です。

コース 約3.5km・約2時間

お問い合わせ 長門市観光交流課 ☎0837-27-0074

29 通（とおり）【長門市】

くじらと共に生きた優しさと人情の漁師町 通めぐり

青海島の通地区は、古くから捕鯨の基地として栄えた漁師町です。

コース 約3.5km・約2時間

お問い合わせ 長門市観光交流課 ☎0837-27-0074

30 三隅（みすみ）【長門市】

明治維新の礎を築いた村田清風と関布政之助の原点ウォーク

清風家の祖先は、毛利氏の重臣で、萩藩初期の三隅支配にあたった村田清良（清良記）です。

コース 約4.5km・約3時間

お問い合わせ 長門市観光交流課 ☎0837-27-0074

31 長門湯本温泉（ながとゆもとおんせん）【長門市】

大内氏と毛利氏ゆかりの湯のまち

山口を代表する湯の名湯のひとつ「長門湯本温泉」。

コース 約3.5km・約2時間

お問い合わせ 長門市観光交流課 ☎0837-27-0074

32 萩城城下町（はぎじょうかまち）【萩市】

世界遺産に登録された江戸時代の町並みを歩く

萩城城下町は、江戸時代において長州藩の城下町として栄えた武家地です。

コース 約5.5km・約3時間

お問い合わせ 萩観光コンベンション協会 ☎0838-25-3557

33 萩城跡（はぎじょうあと）【萩市】

萩藩主毛利氏の居城「萩城」の歴史を感じる城さんぽ

萩藩主毛利氏の居城として、また、萩藩政治の中心地として栄えた指月山一帯と城下町。

コース 約2.5km・約1時間30分

お問い合わせ 萩観光コンベンション協会 ☎0838-25-3557

34 堀内（ほりうち）【萩市】

萩藩の重臣が居を構えた三の丸の面影をたどる

萩城三の丸にある藩内上級武士の屋敷エリア。

コース 約2.5km・約1時間

お問い合わせ 萩観光コンベンション協会 ☎0838-25-3557

35 浜崎（はまさき）【萩市】

海運、水産加工で繁栄した萩藩の海の玄関口

萩藩の海の玄関口として栄えた浜崎。

コース 約3.5km・約2時間

お問い合わせ 萩観光コンベンション協会 ☎0838-25-3557

36 佐々並市（ささなみいち）【萩市】

赤瓦の町家が佇む 萩往還の宿場町を散策

萩往還は、萩藩主毛利氏の参勤交代や藩庁と地方の役所を結ぶ重要な道でした。

コース 約1.5km・約1時間

お問い合わせ 萩観光コンベンション協会 ☎0838-25-3577

37 須佐（すさ）【萩市】

萩藩水代家名 益田家の本領地 須佐をめぐる

萩藩を支藩として支えた水代家老益田家の領地であった須佐。

コース 約2.5km・約1時間30分

お問い合わせ 萩観光コンベンション協会 ☎0838-25-3577

38 益田（ますだ）【島根県益田市】

日本遺産認定の中世城下町と幕長戦争の舞台

中世、石見国西部最大の国人領主益田氏の城下町・益田は、この度、日本遺産に認定されました。

コース 約2.5km・約1時間

お問い合わせ 益田市観光協会 ☎0856-22-8100

※日程やコースは変更する場合があります。お出かけの際は、事前にあコースのお問合せ先へ直接ご確認ください。
※コースにより設定日以外でもイベントが可能です。詳しくはあコースのお問合せ先へ直接ご確認ください。